

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	一橋大学	整理番号	I - 3
拠点のプログラム名称	社会科学の統計分析拠点構築		
中核となる専攻等名	経済研究所		
事業推進担当者	(リダー) 斉藤 修 外15名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本プロジェクトは、データ・アーカイブ、統計理論、実証分析という3つのコンセプトを結合し、それらが三位一体となった、世界的にもユニークな社会科学における統計分析の研究・教育拠点の構築を目指す。社会科学における実証研究の意義は自然科学における実験に比することができる。そのために必要なデータ蓄積に関しては、長期をカバーする統計書等の収集に裏打ちされた推計作業を、現代の統計に関しては総務省統計局の協力を得て政府統計マイクロデータの独自集計を継続的に行い、結果を学界に公共財として提供してゆく。統計理論は、データ収集や安全な公表方法に関する理論的検討を行うとともに、データの適切な分析手法を研究するものである。すなわち本プロジェクトにおいて、統計理論はデータと実証分析を繋ぐ役割を果す。実証分析は、政府統計マイクロデータを中心に家計・企業行動を分析するマイクロ分析と、国民所得勘定に基づいた歴史的視点からの経済発展の分析および景気循環や産業の生産性などを研究するマクロ分析とを両輪とし、いずれも確固たる理論的裏づけの下に行われる高度実証分析を行う。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>一橋大学経済研究所は、これまで『長期経済統計』や『アジア長期経済統計』など長期時系列統計の作成や整備、それに基礎をおいた日本経済研究において卓越した研究実績を挙げてきた。本拠点形成計画がこの伝統を踏まえ、従来のマクロ統計の整備に加え、総務省統計局と協力してマイクロデータの整備や、理論分析や実証分析にさらに力を入れようとする点は学界への貢献からして意義深い。事業推進担当者の研究実績からして実現性の高い計画と考えられ、この分野での世界的研究教育拠点の形成を期待する。</p>			